


様式第10号(第6条関係)



平成30年12月13日

南相馬市議会議長

会派名 無党派
代表者名 大石 弘一 

平成30年度政務活動費収支報告書

南相馬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり、平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

平成30年度政務活動費収支報告書

会派名 無会派
大山弘一

1 収入

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
政 務 活 動 費	120,000	
預 金 利 子		
会 派 負 担 金	93,462	
合 計	213,462	

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	213,462	会派報印刷
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	213,462	

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。
2 会計帳簿の写し及び領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

3 残金

0 円

領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報・公聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
支出内容	会派報印刷代	
支出月日	平成30年9月4日	
支出額	106,731円	

領収書 No. /

領 収 証

No.


大 山 弘 一 様

平成30年 9 月 4 日

金額	106,731	内訳
		会派報印刷代

上記金額正に領収いたしました

〒975-0003
 福島県南相馬市原町区栄町一丁目8番地
有限会社 愛原印刷
 代表取締役 愛原利
 TEL (0244) 23-2068 ・ FAX (0244) 23-2069



領収書等添付用紙

(単位:円)

支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 会議費
	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 資料作成・購入費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報・公聴費	<input type="checkbox"/> 人件費・事務所費
	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費	
	支出内容	
会派報印刷代		
支出月日	平成30年10月4日	
支出額	106,731円	

領収書 No. 2

領 収 証

No.

大山 弘一 様

平成30年10月4日

金額

¥ 106,731 -

内訳

報告書 印刷

付と

上記の金額正に領収いたしました



〒975-0003

福島県南相馬市原町区栄町一丁目8番地

有限会社 愛原印刷所

代表取締役 愛原利

TEL (0244) 23-2068 · FAX (0244) 23-2233



6月議会において「原子力災害による格差解消」の一環として30キロ圏外の高速道路無料措置が可決されました。

市には他の「格差認識」が無く、積極的に市民の不満を解消しない姿勢が見えてきました。



ウクライナ国立キエフ工科大にて、「フクシマの現状と課題」を発表しました。

南相馬市議会議員

大山こういちの6月議会報告

原町区馬場字大谷地82

携帯080-3193-4960

6月議会総務常任委員会において、「未だ市民には様々な不満が残っており、ADRや裁判が継続、新規申し立てが起こされている。」と、更なる「格差是正」を市に質したところ、「この予算で幕引き」との見解が示された。

しかし、復興には市民のこころの整理が重要であり、「検討委員会」等で「格差」の洗い出しをして不満を解消すべきである。
↓一部「格差」について

●原子力災害は汚染被害。放射能は20, 30km、行政区境で止まっていない！

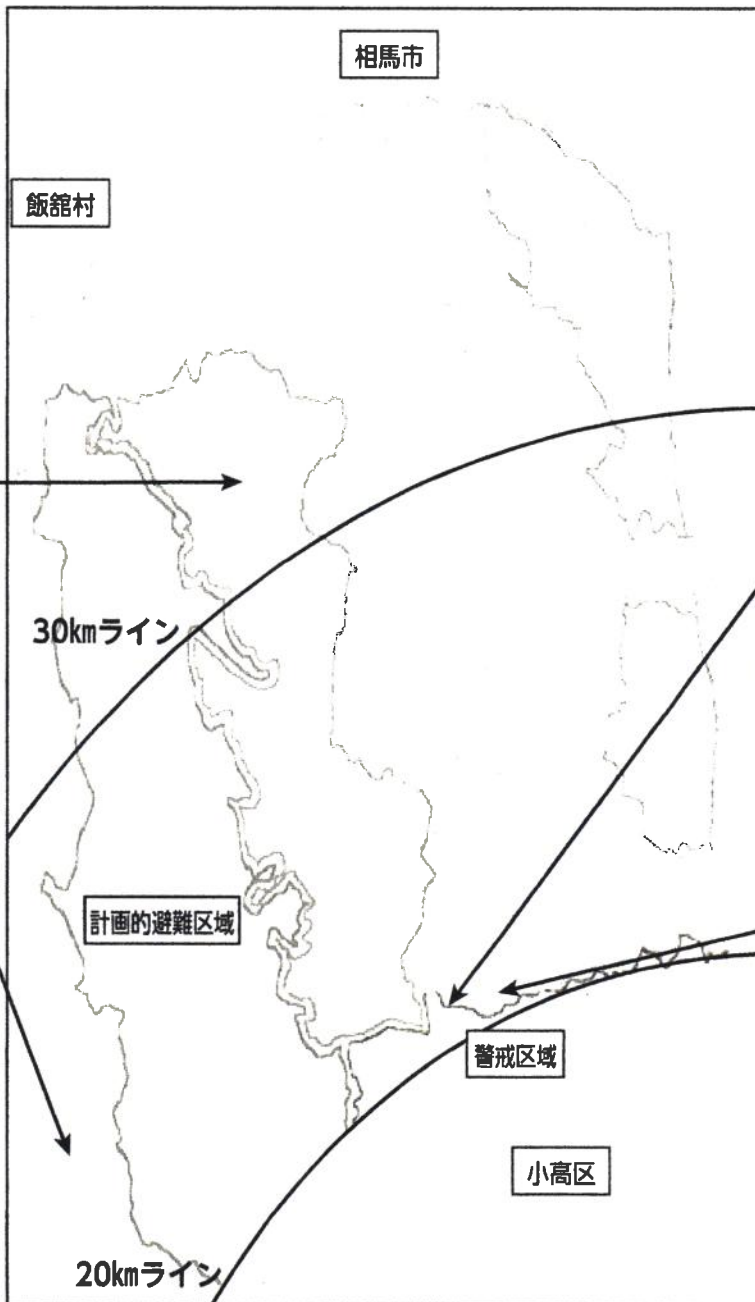
市面積の半分以上が「野放し最終処分場」

A.阿武隈山地も広大な「最終処分場」となり、「特定避難勧奨地点を含む地域」が30kmラインを超えて平成27年4月迄の汚染による精神的慰謝料が認められたとなれば、周辺行政区も汚染や距離で、賠償は傾斜配分なされるべき。

B.汚染の中心は、原発施設中心からの距離に関係なく、放射能が堆積した国道114号線沿にあり、最終処分場と化した阿武隈山地からの汚染濃度や被ばく量は今後とも「健康被害」に関係することから、「汚染」=「健康被害」の考え方が必要！

裏面解説 ↓

南相馬市20km圏外、原町、鹿島区除染(汚染)区分図



●20及び30kmラインは当初の見込みより数百m南に下がり、20km境界設定は特定の人たちの話し合い。結果として財物賠償や精神的慰謝料等、最も大きい「格差」がこの線引き。30kmラインも途中で南下し、宅地が入っても軒がかからねばならない等、不合理が存在。

A. 小高区の山際が約2km近くラインを出て膨らんでおり、実質的には「地形」や「コミュニティー」で決まった線引き条件は、30kmラインでも用いられるべきである。

B. 「緊急時避難準備区域」の谷川原行政区だけは、小学生とその兄弟に限って2年の精神的慰謝料が認められているが、他行政区では今の所、聞かず、市民全体で取り組むべき！

様々な矛盾がある！

原発事故による健康被害がわかってきた！

① 福島県立医大では、避難生活による健康被害や増加した疾病を認定。

「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常」「慢性腎臓疾患」「肝機能障害」「多血症」「肥満」「心房細動」

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/255421.pdf>

② 小児甲状腺がん多発は、原発事故由来であることが分かった。

福医大【二巡目結果】による小児甲状腺がん集計資料

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/244313.pdf>

〈検査間隔による発見率の調整例〉

平成29年6月30日集計

	避難区域等 13市町村	中通り	浜通り	会津地方	合計
悪性ないし 悪性疑い者率：10万対	53.1	27.7	21.5	14.4	28.4

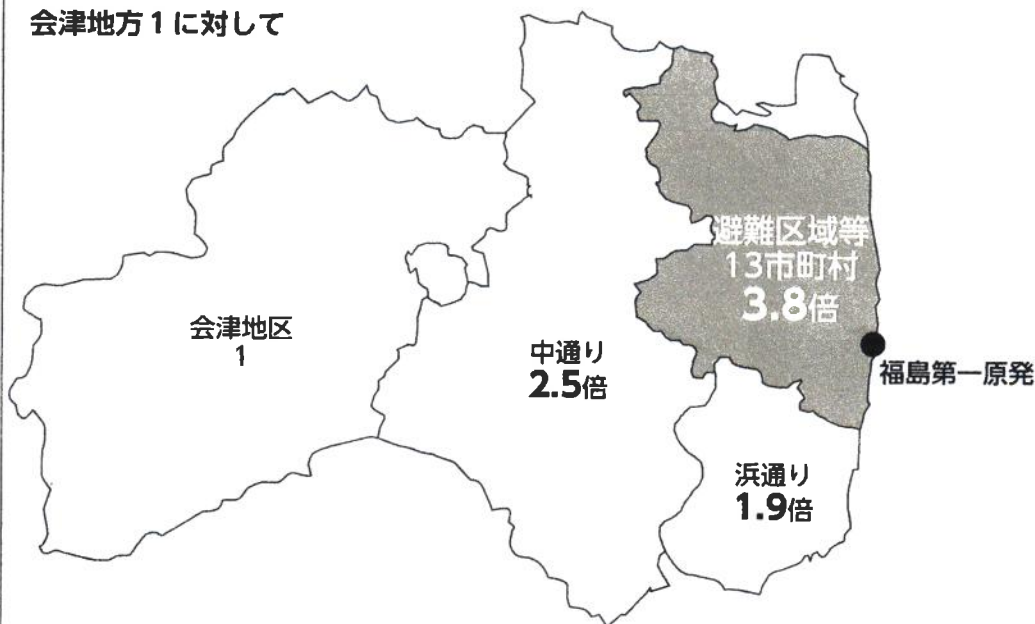
← 1巡目を省いて、時間経過を調整。

1巡目と同じ基準で71人ががん又は疑いになり、その内61人が前回、問題なしとされていたが。

わずか2年で急激に悪化した原因は↓

小児甲状腺がん多発

会津地方 1 に対して

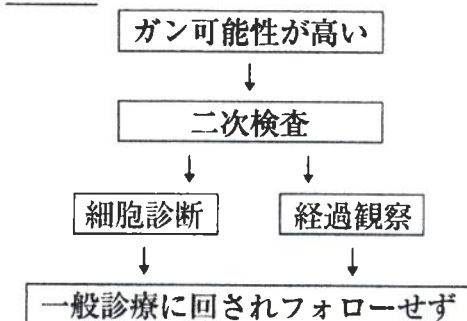


南相馬市を含む、避難区域等13市町村は会津の約4倍
中通りの約2倍の発症。

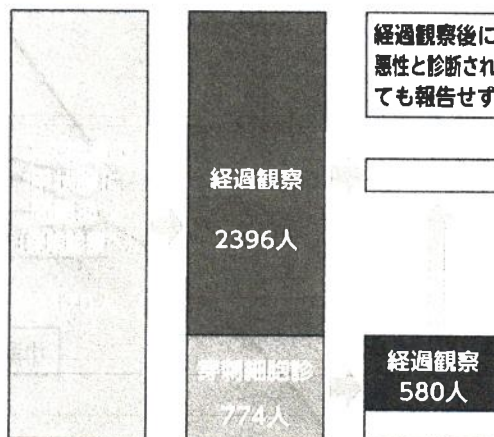
「地域被ばく量と発症の比例」で、チェルノブイリでも「小児甲状腺がんと原発事故の因果関係」が認められた。

既に私達は「危険因子」を持たされた。
健康リスクは甲状腺がんだけに限らず、「生涯医療無料補償」を求めるべき!

スクープ! 県民調査は「ガンを集計しない仕組み」になっていた!!



約1千億円の県事業。誰が考えた?



人数はすべて1～3巡目の合計

二次検査を終えたハイリスク者を「経過観察」としながらその後の経過を捕捉しない仕組み発覚。それでも現在、公表209人。

がん発症の母集団約3,000人、果たしてどうなっているのだろうか?

市民の健康が原発事故前に比べ、関連疾病に数倍の悪化が見られると市立総合病院から回答がありました。

日常生活での健康管理にご注意をお諮り下さいます様、ご報告致します。



ウクライナ国立キエフ工科大にて、「フクシマの現状と課題」を発表しました。

南相馬市議会議員
**大山こういちの
9月議会報告**

原町区馬場字大谷地82
携帯080-3193-4960

「全国ワースト1位、福島県の心筋梗塞死亡 福医大」の情報 <http://fukushima.kenzo-c.jp/385> もあり、市民の健康問題が課題になっております。以下、9月議会一般質問等を抜粋、()内補足、注釈等でお届けします。

—— 市立総合病院の患者数 ——

大山：市立総合病院医師が国会で「南相馬の脳卒中が事故前の3倍以上になった。」と証言していることから、その推移は？

市：事故前の平成22年度は、665人で、平成29年度では2,343人です。

→脳卒中約3.5倍

(資料「脳卒中は広島・長崎の原爆被爆者の調査などから放射線との因果関係も指摘」

<http://www.alterna.co.jp/11008/2>)

注釈) ^{のうこうそく}脳卒中とは、**脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の総称。脳梗塞とは、脳の血管がつまる病気で脳卒中の3/4を占めています。**

南相馬市立総合病院 患者数推移
(医事会計システムより、主傷病名での抽出) 件

しょうびょうめい	平成22年度	29年度	
肥満症	1	28	28倍
高血圧症	1445	2688	1.86倍
糖尿病	586	1074	1.83倍
脂質異常症	432	898	2.07倍
慢性腎臓疾患	17	62	3.64倍
肝機能障害	77	299	3.88倍
多血症	2	9	4.5倍
心房細動	95	360	3.78倍

大山：市立総合病院で、原発事故後の避難生活などが影響と考えられる患者数は？

市：右表にまとめ

注釈) ^{しんぼうさいどう}心房細動とは？

心臓は、電気信号でコントロールされ、規則正しいリズムで全身に血液を送り出していますが、電気信号が乱れると、心臓の拍動リズムが不規則になり不整脈が発生します。

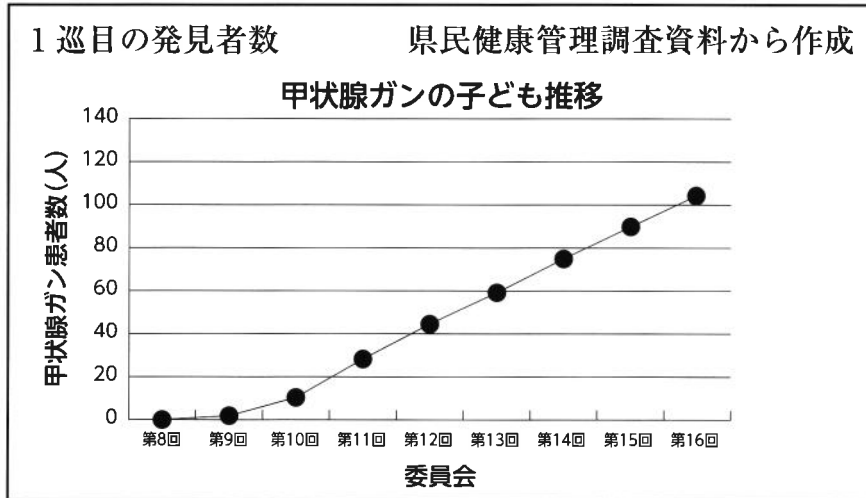
心房細動は、異常な電氣的興奮により起こる不整脈で、心房が痙攣したように不規則に震え、血液の「よどみ」が生じ、血液のかたまりができやすくなり、この血栓が脳に運ばれ、脳の血管を塞いでしまうのが脳梗塞です。

—— 原発事故の放射線の健康影響！？ ——

大山：小児甲状腺がん発見が激増しており、「多発」ではないか？

市：県は「見つかった癌は、総合的に放射線影響とは考えにくい」としており、市は、今後、検査結果を注視していく。

大山：たずねているのは、原発事故後、1年半で8万人に1人見つかった後、うなぎ上りで8万人に40人にまで「激増」、「多発」したことについてですよ。



大山：これまで甲状腺がんが見つかった子供の被ばく量は？

市：2ミリ未満がほとんどです。

大山：それ程少なくても大勢のがんが出ているのなら、政府の「年20ミリまで安全」は信頼できないのでは？

市：今後も注視していく。

大山：小児甲状腺がんが、南相馬市を含む区域が会津の3倍以上、中通りに比べ2倍を超えており、これは原発事故影響の健康被害では無いのか？

市：県は「今後、議論した上で評価する。」としており、市は注視していく。

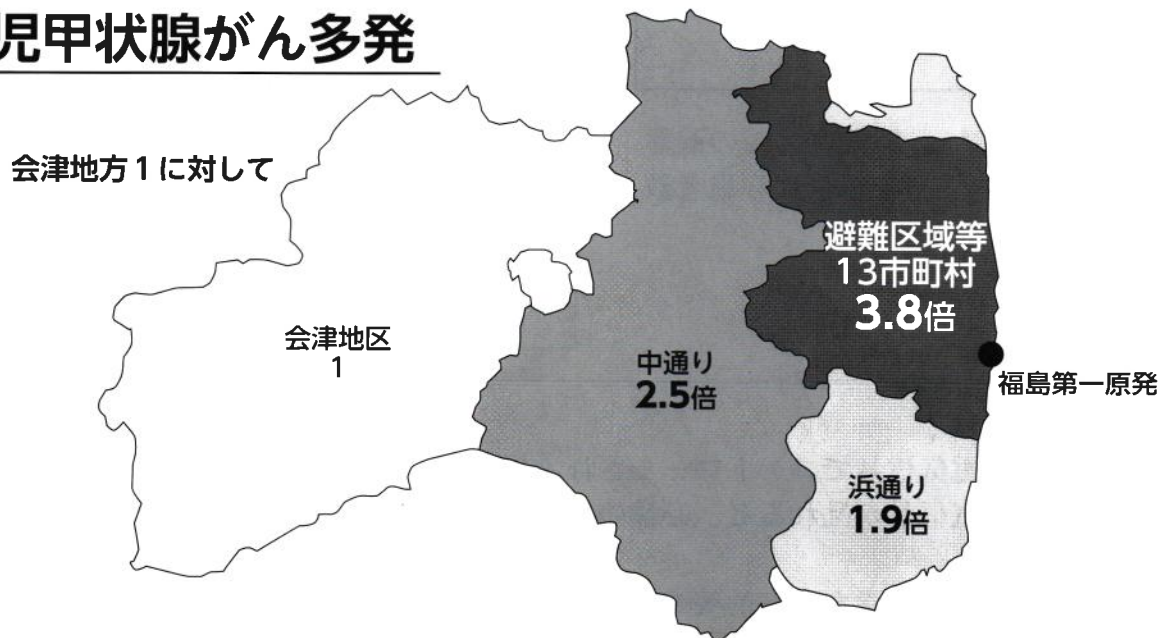
福医大【二巡目結果】による小児甲状腺がん集計資料 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/244313.pdf>

〈検査間隔による発見率の調整例〉

平成29年6月30日集計

	避難区域等 13市町村	中通り	浜通り	会津地方	合計
悪性ないし 悪性疑い者率：10万対	53.1	27.7	21.5	14.4	28.4

小児甲状腺がん多発



※ チラシ内容についての詳細情報は、「命最優先 大山弘一のブログ」をご覧ください。
<https://mak55.exblog.jp/>